

南部シルバー だより

公益社団法人 南部広域シルバー人材センター

第55号

令和3年2月16日発行

本所 〒683-0351
鳥取県西伯郡南部町法勝寺170
電話(0859)66-4011 FAX66-5330

伯耆支所 〒689-4201
西伯郡伯耆町溝口688-7(溝口駅舎内)
電話(0859)63-0222 FAX63-0223

業務時間 8:30~17:15
(休業日) 土・日・祝日



わら束り ^{そく} 畜産農家のお役に

晩秋の晴天下、大山を眺望しつつ、我がシルバー会員の皆さんはわら束り（わらを束ねること）に励んでいます。5～6把ずつ束ねられたわらは、田んぼに立てて数週間乾燥し、牛を飼育する農家で飼料や敷きわらなどに使われます。

敷きわらはその後、堆肥となり農地に還されます。資源循環型農業のお手本です。

この作業は、畜産農家からとても頼りにされており、毎年ご依頼がある仕事です。作業を行う会員の皆さんは、慣れた手つきで広い田んぼにある稲束を手際よく束ねていきます。

目次

南部町長・伯耆町長ごあいさつ……………	2 p	会員紹介……………	6 p
令和2年度事業概要……………	3 p	会員募集……………	7 p
奉仕活動……………	4 p	シルバーの仕事紹介……………	8 p
お客様の声……………	5 p		

令和2年度の契約金額は前年度並みを予想

会員数の拡大に役員、会員、職員が
一丸となって取り組む

シルバー事業の過去5年を振り返って

令和2年度契約額 前年度並みの見通し

下の表1はこの5年間の契約金額の推移です。令和元年度は、請負と派遣の契約金額が前年より約430万円下がっています。これは前年までお客様からご依頼があった大口の業務が減少したことが原因です。併せて、一般家庭からの庭木剪定や草刈り等の業務について発注控えの傾向が

表1 契約金額の推移 (令和2年度は12月までの額。金額単位：千円)

年度	平成28	平成29	平成30	令和1	令和2
請負就業	117,290	118,843	119,548	117,031	91,854
派遣就業	26,313	31,763	34,812	33,001	21,567
計	143,603	150,606	154,360	150,032	113,421
対前年比(%)	-	104.9%	102.5%	97.2%	75.6%

表2 会員数の推移

(いずれも4月1日時点の数。ただし令和2年度は1月末の数 単位：人)

年度	平成28	平成29	平成30	平成31	令和1	令和2
会員数(人)	371	374	371	355	355	349
対前年比(%)	-	100.8%	99.2%	95.7%	100.0%	98.3%



庭の草取り作業の様子をチェックする本センター安全就業対策委員会の皆さん



パトロール後は毎回意見交換を行い、注意点や改善点を話し合い、就業に反映させる

令和2年度12月末現在の契約金額と1月末の会員数の状況は左下の表のとおりです。契約金額は、令和2年度末には前年並みとなることが予想されます。会員数についてはほぼ同数で推移すると見られます。

本センターの契約金額は、鳥取市シルバー、米子広域シルバーに次いで県内第3位を20年以上維持しています。県下15センター中第3位という順位は、会員の皆さんの努力と、お客様である南部町、伯耆町の皆さまのご愛顧の賜物に他なりません。

契約金額は県内第3位 会員・お客様に感謝

見られたことも契約額減少の一因です。表中の令和2年度の契約額は12月までのものですが、年度末には前年度並みとなる見通しです。

左の表2は会員数の推移です。近年、企業の定年延長などの影響で、シルバー入会者は減少傾向のうえ、高齢のため退会する会員が入会者を上回る状況が続いているため、会員数は微減の状態です。本センターでは、5年前から会員拡大活動を展開し、会員数の大幅減を食い止めています。

会員減少を食い止める 活動を展開

「安全はすべてに優先する」を合言葉に、本センターでは年間を通じて安全パトロールを行っています。作業上必要なヘルメットや保護メガネ、安全帯、作業に適した服装などが規則どおり守られているかをチェックし、不備がある場合にはその場で指摘し改善を促します。

パトロールを行うのは会員



工場で働く派遣会員の安全就業パトロールに先立ち、会社の方から説明を受ける



南部シルバーだよりの発行おめでとうございます。皆様におかれては希望に満ちた年を迎えられたものと思います。

思います。今年一年がコロナ禍から脱却し、新たな社会づくりに向けたスタートとなる年になってほしいと思います。昨年延期された東京オリンピック・パラリンピックが開催され、その象徴となることを願っています。

さて、先日、ある興味深い漫画に出会いました。

働くことの大切さを身をもって実践する シルバー会員に感謝と期待

伯耆町長 森安 保

タイトルは「バビロン大富豪の教え」。貧乏な少年が、大富豪からの教えを受け、苦難を乗り越えながら成長する姿が描かれた内容です。「お金持ちになるには」から始まり、そのために何を考え、どう実践するか、そしてその目的とはなど興味深い言葉がならんでいました。多くは紹介しま

せんが「仕事」の大切さは、重要なポイントとなりました。

私は、毎年このシルバーだよりで、働くことの大切さを、身をもって実践しておられるシルバー会員の皆様への感謝と期待を表していますが、今回もより強くそのことを意識した次第です。どうかこれからも健康に留意され、活躍いただくことを期待しています。



南部広域シルバー人材センター 理事長 有馬 均

今後も信頼されるセンターに

コロナ禍のなか、皆様いかがお過ごしでしょうか。昨年末から新型コロナウイルスによる感染者は爆発的に増加し、1月8日には首都圏の1都3県に緊急事態宣言が発令されました。本県においても感染者が増加しており、もはやそのことは言えない状況です。特に私たち高齢者は感染のリスクが高い為、日常生活においても充分気を付けましょう。

三密を避け手洗いなど「凡時徹底」し、「感染しない・感染させない」よう心がけ、コロナを終息させましょう。(コロナ禍が終わることを願って「収束」ではなく「終息」としました。)

適度に疎な地域、「適疎」がいま注目を集め、それを支えるシルバーに期待

南部町長 陶山 清孝



シルバー人材センター会員の皆様にはご健勝でお待ちしております。年末からの雪と、新年

早々の大雪、寒波、そして収束の兆しが見えない新型コロナウイルス感染症など、会員の皆様にとっても、連日雪かきと感染対策の中の新年ではなかったでしょうか。コロナウイルスの大きさは、1円玉の20万分の1。その小さなウイルスが、開発に際限のない人間の欲や傲慢さに警鐘を鳴らしている。そんなことを考えなが

ら雪かきをした正月でした。私たちの地域は、人が密集していない「疎」の中で日々を過ごすことができず。一人ひとりの持つ空間が大きく、地域のつながりが助け合い、自然を恐れ又敬愛し、つましく暮らしています。

人口が減少し「疎」であっても、ただ小さくなるので

はなく、純度を高め厚みを増す暮らしにしなければなりません。このような「適度」に「疎」な地域のことを「適疎」と呼び、デジタル社会の進歩と相まって、いま注目されています。

シルバー人材センターの活動は、この「適疎」な暮らしと環境を守る地域活動です。本年がコロナ禍から脱し、皆様にとって輝かしい年になりますようご祈念申し上げます。本年もよろしくお願いたします。

安全はすべてに優先 年間を通じて安全パトロール実施

「安全はすべてに優先する」を合言葉に、本センターでは年間を通じて安全パトロールを行っています。作業上必要なヘルメットや保護メガネ、安全帯、作業に適した服装などが規則どおり守られているかをチェックし、不備がある場合にはその場で指摘し改善を促します。

パトロールを行うのは会員

日ごろの技で地域に貢献

シルバー会員奉仕作業 溝口 会見 岸本 西伯の4地区で



〔写真上〕天万庁舎周辺の剪定や除草などの作業に参加した会見地区会員の皆さん



〔写真左〕溝口駅や溝口中学校での奉仕作業に参加した溝口地区会員の皆さん

南部広域シルバー人材センターでは毎年、公共施設を対象に奉仕活動を行っています。

奉仕作業は、シルバーにお仕事をご依頼いただく地域の皆様への感謝と、シルバー活動について理解を深めていただくために実施しているものです。

今年度は令和2年10月31日に65名の会員と職員が参加して4地区で実施されました。



〔写真上〕岸本老人福祉センターや岸本公民館での奉仕作業に参加した岸本地区会員の皆さん
〔写真右・左〕溝口駅、溝口中学校での作業の様子

奉仕作業の場所は、溝口地区では溝口駅周辺や溝口中学校、会見地区では天万庁舎周辺、岸本地区では岸本老人福祉センターや岸本公民館、西伯地区ではプラザ西伯周辺。作業内容はいずれの場所も剪定や草刈、草取り作業を行いました。

参加した会員の皆さんは、日ごろシルバーの就業で行っている作業ということもあって、草刈り機や剪定ばさみ、小型のクワなどを使い、それぞれの現場で手際よく作業をこなしていました。



お客様の声

お客様の満足が
会員の励みに

シルバー人材センターにはお客様から様々な仕事の依頼があります。会員はそれらの仕事を誠実にこなします。シルバー会員にとつては、お客様の満足が励みや生きがいとなります。今回もシルバー人材センターをご利用いただいているお客様のご感想を紹介いたします。

接客上手なシルバー会員さんに感謝

南部町 いとが食堂様

昭和36年に店を開き、今年で創業60周年を迎える「いとが食堂」は中華がメインの南部町の人気店です。この店で毎週日曜日に、料理の注文を聞いたり品出しなどをして

のホール係は初の事例です。シルバーにこの仕事を依頼した経緯や藤原さんの働きぶりについて、若主人の糸賀哲也さんにお話をうかがいました。

「土・日曜日のお昼は特に忙しいですが、日曜は妻が子どもを見るので、店で働く人が必要になり、シルバーさんに来てもらえる人はいないかと相談しました。

シルバーさんから紹介いただいた藤原さんは、身のこなしもお客さんへの反応も速く、接客上手、お客さんのさばきもとてもうまいです。

食堂での仕事は初めてというところで、うまくやってみようかと思いましたが、最初の日から藤原さんはとても働きまわりました。



（左から）いとが食堂二代目ご主人、三代目の若主人、会員の藤原和子さん

るので、かえってこちらが心配するほどでした。良い人に来てもらって感謝しています。」

剪定班の手際良さ、出来上がりに満足

伯耆町 妹尾千秋様

シルバー人材センターの利用は、平成10年に障子の張り替えをお願いしたのが最初です。それ以後、たびたび利用させてもらっていて、今年で23年目となります。

庭木の剪定は、数年前より

剪定以外にも、畦畔の草刈などをお願いしているところ。また、今年はいったいのホダ木の伐採もお願いしたところ快く引き受けていただきました。

無理なお願ひですが、無農薬栽培の水田の「田の草取り」を出来る会員さんがあれば是非ともお願いしたいと思っております。



「剪定に満足」と妹尾さん

空き家の入居前の手入れでお世話に

南部町 なんぶ里山デザイン機構様

なんぶ里山デザイン機構は平成28年3月に設立されたNPO法人です。空き家を活用した移住定住の促進、移住者や町民の方を対象とした無料の職業紹介、ふるさと納税事業、里山での暮らしや食材、地元の先人の知恵などを学ぶ

「なんぶ里山デザイン大学」の運営などを行っています。空き家を活用した移住定住の促進活動では、事業開始からこれまでに41件の空き家を賃貸し、空き家の有効活用を



なんぶ里山デザイン機構スタッフの皆さん

行っています。

シルバーさんには、空き家敷地の庭木の伐採・剪定や除草、屋内の清掃、ふすま・障子の張り替えなど入居前の様々な仕事を依頼しています。ときには、入居日まで限られた日数しかない中でも対応していただき、本当にありがたく思っています。

シルバー人材センターでは 新入会員を募集しています

南部町・伯耆町在住の60歳以上の方、シルバー人材センターで充実人生を

入会についての Q & A



このコーナーでは毎回、シルバー会員の皆さんに登場いただき、シルバーでの就業や趣味・特技などを紹介しています。

ハチ駆除はおまかせ

南部町 毎原 充久さん

ハチ駆除は趣味ではありませんが、今も森林での樹木伐採の仕事をしており、高所作業にも慣れてのことから、ハチ駆除の先輩会員に声を掛けられました。

駆除するハチはスズメバチ、アシナガバチが主です。雨合羽を着てヘルメットに白

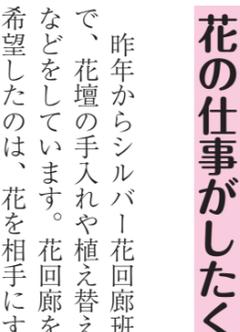


写真は毎原さんが駆除した大スズメバチの巣。大スズメバチは世界最大のスズメバチ。攻撃性が強く、駆除には装備、スプレーなどが必携。

いネットをかぶり足元は長靴と完全装備で挑みます。ハチ駆除の基本は、恐れず堂々と行うこと。あわてると足場から落ちます。

ハチ駆除をしていて、ハチがかわいそうになるときもありませんが、困っている人をお助けしたいという気持ちでやっています。

す。駆除が終わって、お客様からお礼を言われると、報われた気持ちになります。



花の仕事がしたくて花回廊班に

南部町 岩田 まゆみさん

昨年からシルバー花回廊班で、花壇の手入れや植え替えなどをしています。花回廊を希望したのは、花を相手にする仕事をしてみたいと思ったからです。とは言うものの最



先輩に教えてもらい花の手入れを学んでいますと岩田さん

あんしん御守袋、多くの人によるこんでもらった

伯耆町 中曾 修司さん

シルバーに入会して4年たちました。入会后、事務所です。3ヶ月ほど電話対応の仕事をして、シルバーの業務内容が少し理解できました。

昨年12月から今年にかけて、伯耆町からシルバーが委託を受けた「あんしん御守袋」



自らが管理する中曾さん所有の柿園で

初は初心者。先輩がたに手取り足取り教えてもらいました。先輩の機械で植えたような正確な花植えを見て驚きました。花によって植える深さが違うということも学びました。料理の上手な先輩もたくさんおられて、休憩時間にはいろいろな料理も教わっています。今年も3月から花回廊の就業が始まります。体調を整え、がんばって花の世話をしようと思っています。

の配布の仕事をしました。70軒ぐらい配って思ったことは、自治会に未加入家庭や核家族も多く、家を探すのにひと苦労でした。でも、多くの人に喜んでもらえて嬉しかったなあ。

このほか、段ボール組立てやペットボトルのラベル貼りなどもしています。女性会員さんもおられ、一緒に仕事をするとときは特にはかどるのは私の気のせいでしょうか。今後も体調管理しながら元気に働きたいと思っています。

今後も地域と健康のためがんばりたい

伯耆町 大江 秋夫さん



選挙看板撤収作業中の大江さん

もともと大工仕事をしてきた私は、シルバーでは草刈作業の手伝いぐらいができればと、昨年11月に入会しました。冬場は草刈もなくなるだろうと思いましたが、入会早々伯耆町からのあんしん御守袋の配布に声をかけてもらい、地図を片手に家を探し、シルバーではこんな仕事もあるのだなあと思いました。1月になると、選挙の看板設置等にも声をかけていただきました。先輩会員の指導を受けながら一緒に町内を廻り、楽しく就業ができました。今後も地域のため、自分の健康のために頑張りたいと思っています。

何歳から入会可能ですか？

入会可能な年齢は60歳以上です。ただし、その年度に60歳になる人は、入会時に59歳でも入会可能です。入会するためには必ず入会説明を受けなければなりません。入会説明会についてはこのコーナーの左下のとおりです。

就業の流れと報酬(配分金)は？

請負就業の場合、お客様からシルバーに就業依頼があると、その就業ができる会員に連絡します。会員に就業を了承してもらったら、お客様と会員、職員で現場打合せをし就業開始です。完了後、お客様に作業完了を確認してもらいその確認書をシルバー事務所に提出します。会員への就業報酬は、翌月15日に会員の口座に振り込まれます。

どんな仕事があるの？ 社会保険は？

就業の例としては8ページを参照してください。これらの就業のほかに、とっとり花回廊での花の手入れの仕事や、工場の製造補助などの就業もあります。シルバー人材センターと会員には雇用関係はありませんので健康保険の適用はありません。また、一定期間の賃金を保障するものではありません。

入会説明会と年会費は？

入会説明会は毎月第3水曜日の午前9時30分から。偶数月は南部町のプラザ西伯、奇数月は伯耆町の岸本保健福祉センターで開催します。時間は90分程度です。入会時には年会費2500円が必要です。

新型コロナウイルス対策

シルバー事務所も透明な仕切り、カーテン



透明な仕切りとカーテンを設置した本所事務所



伯耆支所事務所も同様に設置

新型コロナウイルスの感染拡大に対して、本センターでは事務所に透明な仕切りやビニールカーテンを設置し飛沫拡散防止に努めています。鳥取県が県民に呼びかけるコロナ対策の注意点は、①三密の回避、②マスク、手洗い、③飲食は安全な店で、④店舗、事業所も仕切り、換気、消毒を、などです。日常の心がけで新型コロナウイルスを防ぎましょう。

あわがき

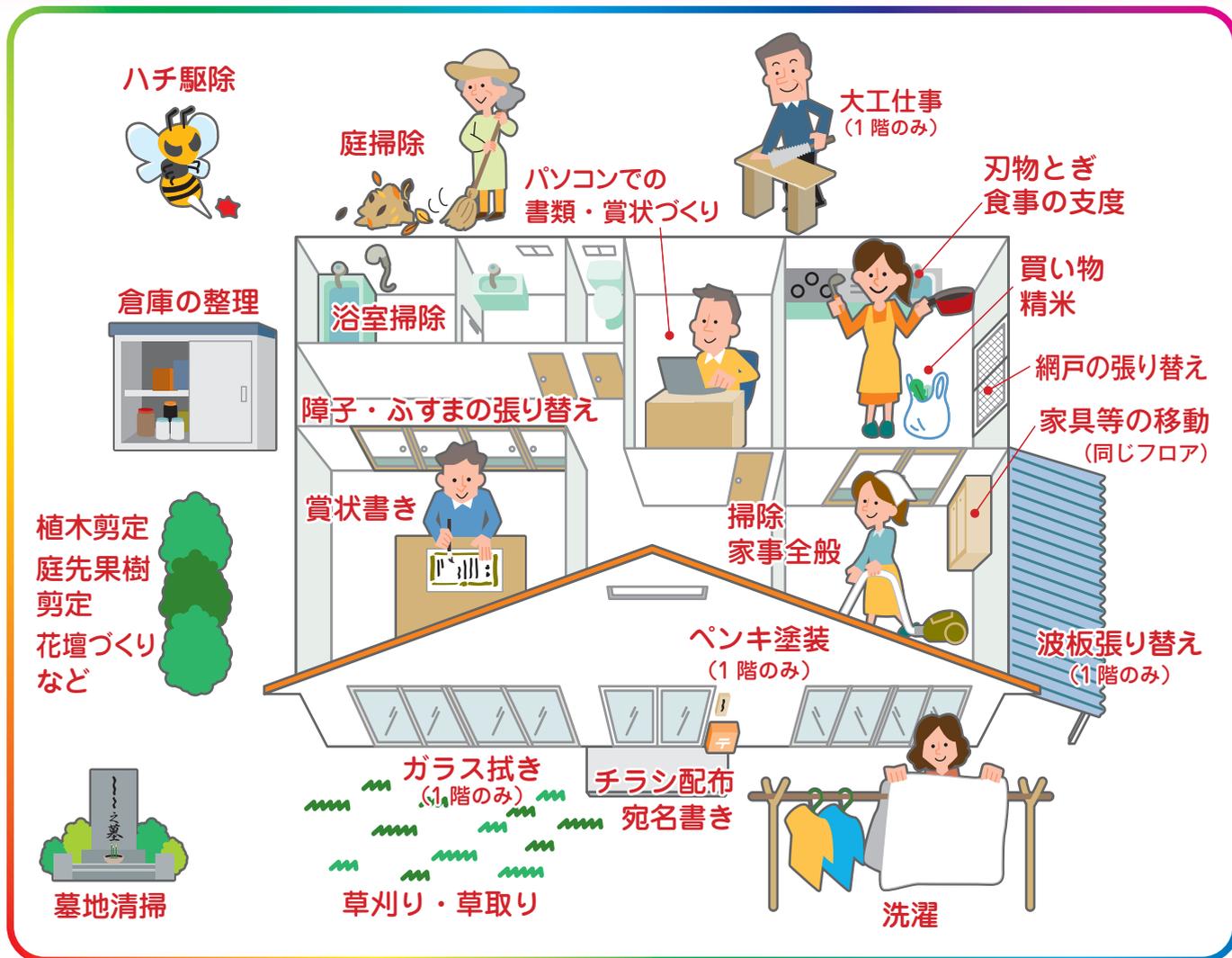
寒波の記憶

普及啓発部会担当理事 吉畑隆博

新年を迎えて間もなく、数年に一度の寒波が襲来した。「寒波」と言えば、2010年の大晦日から元旦にかけての豪雪を思い出さずにいられない。国道9号線に車1000台が立ち往生し、約3200人が雪の中で年越しをしなければならなかったあの時の出来事を。

凍てつく寒さの中で、近隣の住民が自発的に炊き出しをしたり、トイレを提供したりと、中には自宅に招いたり、様々な救援活動が行われた。情報もなく雪の中に閉じ込められた人々が、このような親切にどれほど勇気づけられたことだろう。歳を重ねるとできなくなるが増え不自由を感じるが、「遠くの親戚より近くの他人」という言葉があるとおり、身近な人に気軽に「手伝って」と声をかけられる人間関係を大切にしたいと思う。

シルバー人材センターは 皆様の暮らしや地域のお助け隊です



お仕事の依頼、
ご相談、入会は…

公益社団法人
南部広域シルバー人材センター

本所
南部町法勝寺170(プラザ西伯内)
Tel 0859-66-4011
Fax 0859-66-5330

伯耆支所
伯耆町溝口688-7(溝口駅舎内)
Tel 0859-63-0222
Fax 0859-63-0223

ホームページから見積りや
お仕事の依頼ができます



遠方のお客様のご利用にも便利です。
完了時には写真を添えて報告します。

「シルバーまかせてネット」で検索